

プロッターレビュー

extremelure

カッティングプロッター

Valuerの皆様、今回は支援頂き有難う御座いました。

では、どの様な機械を導入したか。



カッティングプロッターと呼ばれるものです。

今回、[ブラザーScanNCutCM300](#)というモデルを選択しました。

では、先代で使用してきた機種との比較や、何故この機種を選択したか
現段階での使用感を書いてみたいと思います。

まず、現在入手可能な家庭用カッティングプロッターは大体3機種

今回導入した[ScanNCut](#) これは、データの転送方法や、ちょっとした違いで2機種あります。



次に、[ローランドDG STiKA（ステカ）](#)これは、サイズ違いで3機種



最後に、[GRAPHTEC silhouette cameo3](#)



この3機種が主流になると思います。価格帯もほぼ同じ様な感じです。
では、どの様に選別して行ったか。

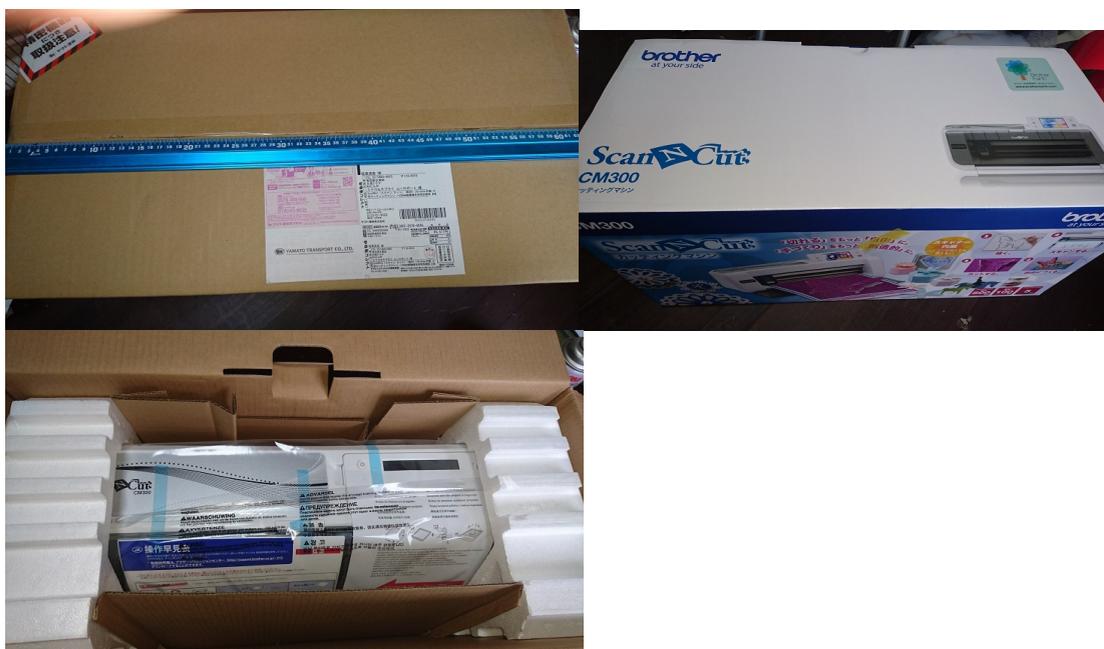
一番重視したのは、**aiデータが使えるか？**

恐らく、これを興味持って読む方は、デザイナー、イラストレーターだと思います。
なので、Illustrator aiデータが使えるかどうかは重要だと思います。
実は、ここでsilhouette CAMEO3が脱落してしまうのです。
これが、非常に悩ませる原因だったのですが、
silhouette CAMEOの前身Craft ROBOという製品を使用していました。

また、このCraft ROBOという製品は、**Illustratorプラグインから直接カット出来た**のです。
これに慣れていた為、ここは絶対譲れない部分でした。（裏技使えば可能ですが）
aiが使えるば、ずっと使ってきたメーカーだったのでそのまま移行したと思うのですが、
ローランドDG STiKA（ステカ）かScanNCutの二択になってしまいました。
この時点では、ローランドDG STiKA（ステカ）が第一候補でした。
ですが、この機種、A4サイズの横幅210mmに対し、カット範囲が160mmなのです。
ロスが多すぎです(・_・;)両サイド合計4cmロスすると思うと・・・

また、発売から年数の経った機械だという事もあり自動的にScanNCutのみになってしまいました。

ですが、プロッターの前二強に対し完全後発、新規参入のScanNCutですので、ネット上に全くレビューが無く不安だらけのままの購入になりました。買ったものの、使えませんでしたと言う訳にもいかないし・・・とりあえず、急ぎだったので、背に腹は代えられず、購入ポチッ。届きました。



60cmまで切る為のマットをオプションで追加



新旧サイズ感の違い



ここで、大きな誤算が・・・

USBケーブル接続出来るとのことで、CM300を購入（CM110はUSBメモリでのデータ移行）したのですが、

Illustratorプラグインから直接だと思っていたので、

ドライバも同封してないし不思議に思っていると、Illustratorで作図した場合。

1. 「psb (psd) 」や「ai」などの画像ソフトデータを「SVGファイル」に変換。
2. スキャンカットのオンラインサービス ([スキャンカットキャンパス](#)) を使い「SVGファイル」をスキャンカットで読み込める「fcmファイル」に変換。
3. 「fcmファイル」をスキャンカット本体に転送。

という流れが必要で、PCに保存した「fcmファイル」の本体への転送がケーブルで可能という物でした。（ちなみに、この時本体は外部メモリとして認識されコピーで転送されます）

ただ、これは一長一短で、すぐ切りたい時には不便なのですが、同じ物を何回も切るといった作業の場合、本体に保存され、呼び出してカット出来るためPCが無くてもカット出来るといった面もあります。

Craft ROBOでは、Illustratorプラグインよりカット出来、レイヤー毎にカット圧やスピード等を設定出来たのですが、そのような事は出来ません。

また、**トンボ読み取り機能も有りません。**

イラストレーターや、デザイナーがステッカー印刷して、外形をカットしようとするといった場合、トンボ読み取りでカットするのが一番だと思うのですが・・・

ただ、ScanNCutの売りは、名前の通りスキャンしてカットが出来るという点です。ただ、用途は、スクラップブックのような物になる気がするのですが、
<https://fabcafe.com/tokyo/blog/53634e507390d>こんな感じの様ですが。

Illustratorで作成する人に必要かは、どうでしょう？

また、最大長さが60cmまでしか切れません。

と、問題点ばかり書いて来ましたが、もちろん良い点も有ります。

前途の単純繰り返し作業の効率化もですが、大体の製品は、カットする物を2点のローラーで押さえカットするのですが、歪みが出やすいのです。

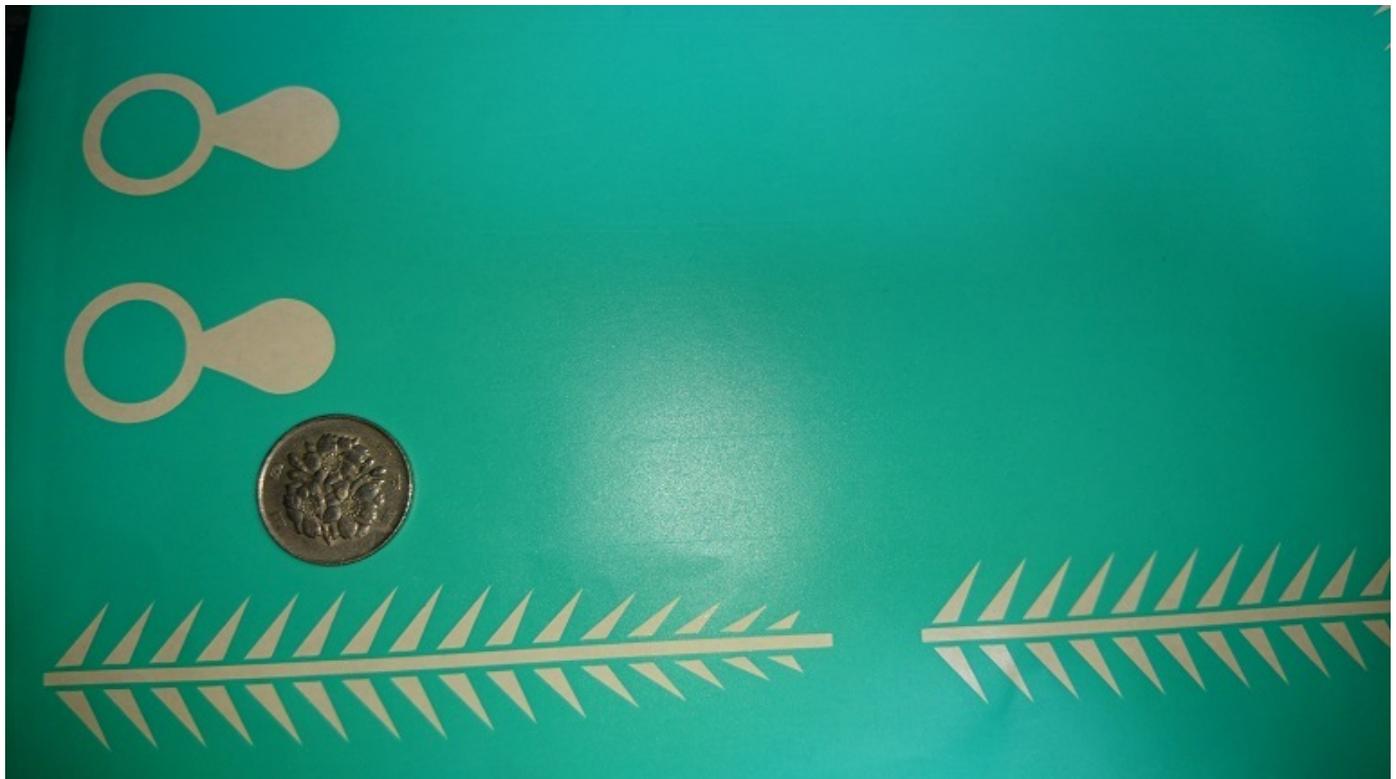
A4 21cmを2点のみで保持する訳ですから。一応、下敷きのようなものに貼り付ける物も有るのですが。

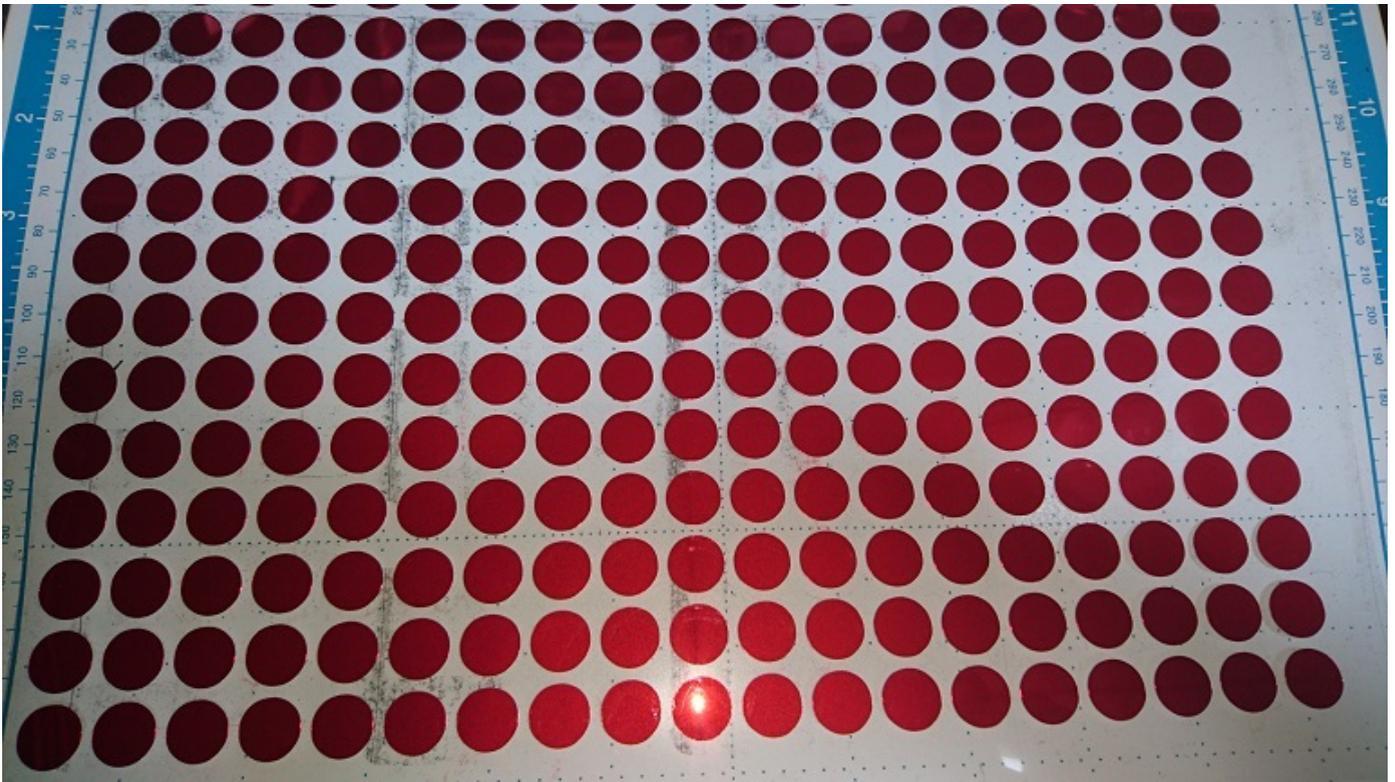
ScanNCutでは、カットするための台紙に貼り付け保持は、この台紙を保持していますので歪みが出ません。

また、この台紙を取り込む時に、ガイドが有るためズレも生じません。

また、刃の出具合を無段階に調整出来るため、セッティングが決まると綺麗に切ることが出来ます。Craft ROBOでは、刃先が3段階にしか調整出来ず、細い部分のめくれの原因になっていました。

この様な細く鋭角な物や





円の始点と終点で切り残しが出たりといった事がありました。ScanNCutでは、そのような事は起こりません。カット面も非常にスムーズです。
また、布などの厚物をカットすることを想定して作られてるようですので、パッチワークに使用する方には特に向いているかもしれません。ミシン屋さんだから？

導入から現在までの使用感、問題点を書いてみました。

自分の仕事での使用では、満足の行く製品でした。

もし、興味が有って、購入前にこんな事出来る？とか、試しにカットして欲しいとかの相談は気軽に言って下さい。

最後に、有ると便利な物。台紙の粘着が弱くなった時に、貼って剥がせるタイプのスプレーのり

。



3M

スクラバーの力

はってがせる

スクラバー

430

紙・写真・布・金属箔 などに

フロンガス及び塩素系溶剤は使用していません